

聖徒の道



9月号
1957

末日聖徒イエス・キリスト教会

目次 聖徒の道

一九五七年九月号

「伝道部長メッセージ」

伝道部発展の為に五つの支部閉鎖……………

……ポール C アンドラス伝道部長…………… 一頁

「質問欄」

重婚の制度について…………… 四

「ニュース欄」

新訳モルモン経に就て□……………佐藤龍猪…………… 七

モルモン開拓祭……………多根思汀…………… 八

塩一家の改宗を見て…………… 九

「伝道本部より」…………… 十

新宣教師到着 転任 日本人宣教師召さる

任 命 解任 バプテスマ

「福音のたより」(各支部の報告)

素晴らしき家族の夕(仙台支部)…………… 十一頁

阿倍野支部より…………… 十二

山形支部の七月…………… 十二

金沢支部の行事…………… 十二

「信仰と証詞」

神の愛の大きさを……………武川忠義…………… 十三

浸礼受ける日まで……………佐々木キオ…………… 十三

一言集…………… 十四

「支部訪問記」(岡山支部の巻)…………… 十五

表紙の説明…………… 十七

編集言…………… 十七

メッセーヂ

伝道部の発展の為に

五つの支部閉鎖

伝道部長 ポール・シー・アンドラス

「聖徒の道」の九月号が読者に配られるまでには、日本に於ける五つの支部が閉鎖されているは事であります。そして予定によると、東京東支部が八月の十一日に、新発田支部が八月の十七日に、三条支部が八月の十八日に、小松支部が九月の一日に、京都支部が九月の八日に閉鎖されることになつて居ります。五つの支部を閉鎖するということは重大な処置であつて、このような知らせを耳にする人が第一に受ける印象は、当教会は一層強くなつて居るかわりに一層弱くなつて居るということにちがひありません。然しながら、実際には、これらの支部を閉鎖することによつて当教会はますます進歩を促されるにちがひありません。

私たち末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、父なる神が真に活きたもうこと、全人類は父なる神の子供らが神の教え通りに道をふみ行うことによつてことごとく救われることのできる計画を備えたもうこと、イエス・キリストはこの偉大な計画を執行する者として任命されたもうて居ること、イエス・キリストはこの地球の創り主であり、全人類の贖い主であること、何百年も前にこの世から失われた真の教会は予言者ジョセフ・スミスを通して既に回復されていることを知つて居ります。

私たちは以上のことを皆知つて居り、またイエス・キリストが何もなくこの世に再臨したもうて、義と大きな栄光の中に親しく統治したもうことを知つて居ります。救い主の再臨にそなえて、私たちは全世界に神の王国を建てるために働いて居ります。もつ

とはつきりと申しますと、私たち日本、韓国、沖繩に居る者は、日本と韓国と沖繩とに神の王国を建てるために今働いて居ります。当教会の目的は、教会員であつて忠実にまた活潑な働きをする者に、神がその数々祝福を注ぎたもうことのできる仲立として役に立つこととあります。教会がどれほど充分に組織されているかということ、どれほど祝福が会員たちの上に注がれるかということの間にはある関係があります。

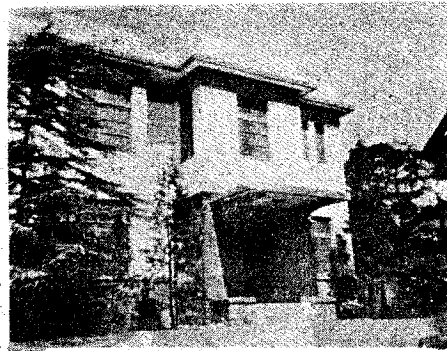
もしもある地域で教会が良く組織されていて円滑にその役割を果しているならば、その地域の会員はそれに比例して豊かに祝福を受けるに違いありません。しかし、教会の組織が充分に備わつていず、充分に役員も置いてなく、良くその役目を果していないならば、その地域の教会の会員は多くの豊かな祝福を失うにちがひありません。

教会の諸々の組織が完全に組織され、役員が充分に置かれまた教会の役目が完全に果されている時にだけ、その会員は神が与えたいと思ひたもう数々の祝福をみな受けているにちがひありません。そこで、私たちの目標は、神が与えたいと思ひになる数々の祝福を私たちが教会員としてみな受けることのできるよう、日本、韓国、沖繩に於ける教会の組織と運営とを完全なものにしようとする努力をすることとあります。

ところが不幸にして、当教会は本伝道部の中の最も強力な支部を以てしてもなおその組織、役員の具備、支部の機能などは貧弱であります。今から九年前に日本伝道部が再開されて以来、当教会が日本に於て立派な進歩をとげたことは本当であります。そしてまた宣教師が韓国と沖繩に到着して以来十六ヶ月の間にこれらの地に於て立派な進歩がなしとげられたことも本当であります。しかし、どの支部も完全な組織に近づいていないのであるから、当教会が、こども教会のあるべき姿に組織され、充分に役員を具え、また充分にその役目を果している状

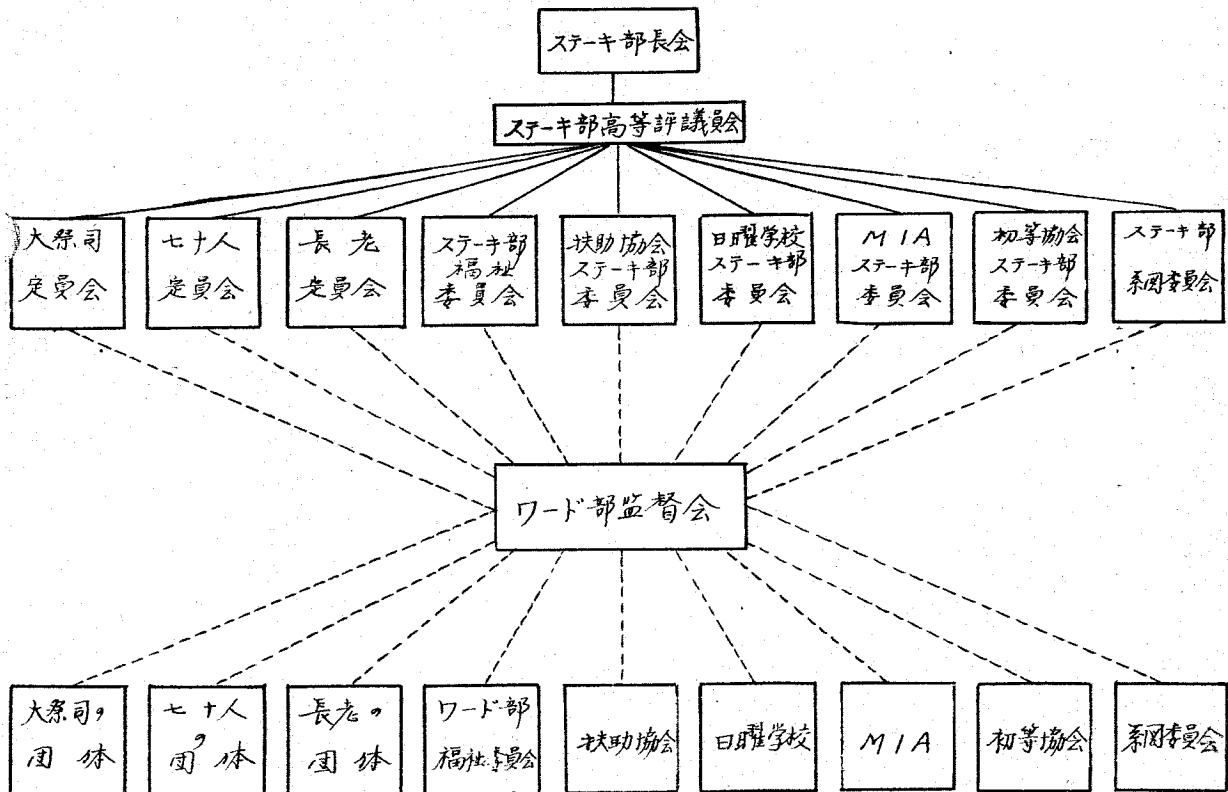
態に近づいていいると考えて、思い違ひをしてはなりません。

教会が完全に組織され、充分に役員を具え、また正しく機能を發揮しているという時、私は何を考えているのでしようか。それはもちろんステーク部のことをつているのであります。完全に組織されたステーク部が何を含んでいるかについて、ある概念を得るために、どうぞ本文についている図を参照して下さい。この図は完全に正確ではありませんが、説明のためには充分役立つにちがいありません。通常各ステーク部の中には五つから十のワード部がありますが、ここには説明のためにたゞ一つのワード部だけに示してあります。これを見ると、



いろいろの神権者の組織と補助組織とがワード部の監督会の直接管理下にあらることにつくでしようが、更にまた各々の場合に監督会と協力してワード部の組織を指導するステーク部の組織もあることに気がつくでしよう。ステーク部の各組織を代表する人々は、各ワード部をしばしば訪問するように割り当てられているので、一年の中ほとんど毎日、ステーク部の組織を代表する多数の人々が旅行をして居ります。それで、あるステーク部の中にある各ワード部は、この各々が便利に訪問できるよう充分近接していなければなりません。一つのステーク部が完全に組織され、充分の役員を具えるためには約二千五百人の会員が必要であります。

さて、完全に組織されたステーク部と本伝道部のどの地方部でもよいから比べてごらん下さい。そうすれば比較して当地の教会が組織も役員の具備も、教会の機能も貧弱であることがわかるにちがいありません。東京——横浜と大阪——神戸地域とは当然ス



テキー部に発展するのに適して居ります。それで、これらの各地域の中にある五つか六つの支部を、組織することによつてこれが急速にステキー部に発展すると私は信じています。

このことを考えて、昨春秋、東京東支部を含む五つの支部が東京に開設されました。当時、私は小岩の地は将来同じステキー部の中にある他の支部と充分よい具合に近接していると考えていました。したがって小岩は他の支部と離れすぎていることを、悟るに至りました。

小岩から吉祥寺まで行くには片道一時間半かかります。また小岩から横浜へ行くには片道二時間かかります。主としてこの理由によつて東支部を閉鎖することにきめました。このほかの四つの各東京支部と横浜支部とは互いにより具合に成長してステキー部となるよう充分近接して居ります。大阪——神戸地域には今のところ支部が二つしかないのです、この地域で少くとももう三つ支部を組織するまでステキー部を組織するまでの進歩がおくれることになりました。しかし、もう三つの支部を組織するためには少くとも六名の宣教師が必要であります。

さて、何故五つの支部が閉鎖されたかという問題に返りますと東京東支部の閉鎖された理由はすでに説明いたしました。そのほかの四つの支部がこのたび理由といえ、これまで数年にわたつて得た結果があまり貧弱であるので、これらの支部に宣教師たちが續いて働くことを正しいと言えないからであります。これら各支部に於ては、開設以来数年にわたつて甚だ少数の改宗者しか得られず、また現在バプテスマを受ける改宗者の数も極めて少数であります。これらの支部で改宗した少数の改宗者の中には優秀な会員もありませんが、その多くはもつと大きな都会へ移つてまいりました。これらの支部の中の残つてゐる会員の中で、少数の人々だけが教会の中にあつて忠実であることは、これらの支部の中で完全に分分の一を納める人の数が少いことによつて証明される通りであります。また次に、教会が成長する前途の見込みも、これ

らの支部に於ては伝道部のほかの支部に於ける見込みには遠く及ばないのであります。たとえば、本年これまで小松と京都支部では一人もバプテスマを受けて改宗した者はありません。しかし、岡町支部（大阪）ではこれまで二十六人もバプテスマを受けているではありませんか。

宣教師たちは回復された福音の証しをし、改宗者にバプテスマを施して教会に加入させるために派遣されて居ります。宣教師たちは故国にあるその両親や友人たちの大きな犠牲に支えられて伝道部で働いて居ります。従つて、宣教師が良く迎え入れられる所で働くのを許されることは、公正であり、また道理にかなつたことであります。

以上すべてのことを注意深く考慮した結果、もし宣教師たちをこれら改宗者が得られない支部からとり去つて、もつと改宗者が得られる地域で働けるように割り当てるならば、神の王国はもつと速かに一層強くなるに違いないと私は心にきめました。しかしながら、当教会はこれら支部の中にある会員たちに責任があるので、どの支部を閉鎖するかをきめる前に、私はこのことに就き慎重な考慮を払いました。各々の場合、閉鎖された各支部の会員たちは、近くの支部の教会へ出席することができ、三條と新発田の会員たちは新潟市の集会に出席することができ、小松と大聖寺の会員たちは金沢市の集会に出席することができ、京都の会員たちは大阪にある支部の一つが催す集会に出席することができ、そして東京東支部の会員たちは、東京にある支部の一つが催す集会に出席することができ、さらに、宣教師たちは閉鎖された支部の会員たちを定期的に訪問して一しよにいろいろの集会を催します。私は閉鎖された支部の会員たちは、もしもできるなら基礎のしつかりした支部教会のある土地へ移転するように勧めますが、移転することのできない会員たちでも諸種の集会に出席すること

ができ、また宣教師らの訪問を受けます。

日本にある五つの支部が閉鎖されてしまいました。この手段は神の王国を弱めるよりも、むしろ神の王国を強化いたしました。宣教師たちはもつと多くの改宗者にバプテスマを施すことが出来るに相違なく、これによつて教々のステーク部が組織されて、日本に神殿が建てられる日のくるのが著しく早められるにちがひありません。私は会員諸氏と宣教師たちの協同一致の努力によつて以上の目標が速かに達成され、かくして、本伝道部に属する支部教会の全会員が、天父の与えたいと望みたまうすべての祝福を受けることができるよう心から祈り奉ります。

質問欄

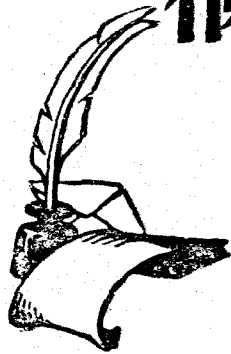
重婚の制度に就て

「質問」

教会は、何故その初期に於て「重婚」の制度を採用したのか。

「回答」

重婚は一夫多妻主義は、一八四三年から一八九〇年までの間二乃至四パーセントの教会の会員の間で行われた。この後、米國合衆国の最高裁判所は憲法を制定して、この慣習を禁じた。憲法に従うことは、教会の根本的な教義である。（教義と聖約九八章五一六節を参照）従つて、ウィルフォード・ウィッドラフが主よりの導きを願ひ求めた後、教会は、この制度を廃止した。しかしながら、重婚は一夫多妻主義に反する憲法が制定されるやうと前から、教会はこの慣習を禁ずると宣言していたのである。例えば、一八五三年の六月号「聖見者」の中でオルソンブラットは



次の如く書いてゐる。

「人の律法により重婚は一夫多妻の禁じられてゐる州、地方又は国に於て、二人以上の妻と結婚することは、末日聖徒にとり正しいことであらうか。これに對して、われわれは、否、正しくないと答える。何とならばわれわれは現在ある力！正しものであるなら！に従う様命じられてゐるからである。」

今日重婚は一夫多妻をしたり、又それが適切なものであるなどと教える者は速やかに教会より破門されるべき人である。

重婚は一夫多妻主義ということとは、常に広い説明を必要とする問題であつた。重婚は一夫多妻の歴史についてよく知らない教会の会員や、多くの非会員たちは、この慣習が末日聖徒の間に取り入れられた動機に關し、誤つた考えを持つてゐる。

こうした誤つた考え方の中で、最も普通なものは、教会が、女子の会員が過乗のためにとられた処置であるという考え方である。教会に男子会員より女子会員の方が多いという仮説は現存する説明によつては、決して支持されないものである。これに反し、教会には、常に女子会員より男子会員の方が多いと考えられて來てゐるのである。家族（父、母、子供）は普通教会に入会するが、勿論多くの未婚の女子が改宗したり、多くの未婚の男性が改宗したりすることもある。一八五〇年から一九四〇年よりの合衆国の調査及び教会の記録によると、ユタ州、及び教会には常に男性の方が圧倒的に多かつたことを示してゐる。誠に男子増加の割合は、全米の他州よりはるかに大きいのであつた。教会内に於ける出生は一般の人口増加の法則！男性がわずかに多い！に従うものである。一八五三年、女性の数が最高となつたと考えられた時、ユタ州の状態に關する直接的な知識を以て著述に専念してゐたオルソンブラットは、ユタ州では女子が男子よりその数に於て勝るといふ意見に反對の意を宣言した。重婚及び一夫多妻が採用されたのは女子の会員が多かつたからであると

いう考え方は実に証拠を有さぬ考え方なのである。

もう一つの誤った考え方は、重婚は一夫多妻が教会指導者の放縦によつて生じた結果であるということである。これは手もとにある証明によつて反駁され得るものである。教会の創設者や初期の指導者たちは、英國の一夫一妻主義の制度に下で厳格に育成されたからである。重婚は一夫多妻は彼らにとり、不聖な、且つ嫌悪すべき慣習であつた。ジョセフ・スミスは、一夫多妻主義に従うなかつたら滅ぼされるであろうという警告を受けるまで、この主義を守るのをちゆうちよしたと云つてゐる。ブリガム・ヤングは、この教義が啓示された時、二人以上の妻をめとるより、死んだ方がよいと云つた。その他、この教義を教えられた多くの教会の指導者たちも、この慣習の実行に反対の意を表明したのであつた。疑いもなく、女の人たちもこの慣習に就いて同様な考えをもつてゐた。しかしながら、多くの妻は一人の夫との相互関係について高い道徳性を証してゐるのである。すべての妻は、財産權に於て平等であつたばかりでなく、同様の待遇を受け、すべての子供たちも平等の教育を授けられ、同様に認められていたのである。モルモン教会の重婚は一夫多妻主義は、女は男の情欲を充すにすぎないという男性のふしだらな生活を示すものでは決してない。女性には、決して重婚より一夫多妻を強いられただけではなかつた。即ち目を見開いて自主的に行つたのである。即ち男も女も、殆んど例外なく、清く、氣高い生活を行つたのであつた。こうした人たちの子孫は、数多くあり、皆価値ある立派な市民であり、自己の血統をほこりとしてゐる。正直な人たちによつて読まれる末日聖徒の物語は、重婚より一夫多妻主義ということが放縦、又は情欲の結果でないことを明らかに示してゐるのである。

重婚の起原に関して維持出来ない見解がある。教会が初期の時

一夫多妻

代を過した開拓地では教会外の男の人たちはしばしば無教育で言葉も行いも粗野であり、上品な女性には全く魅力もない存在であつたということが主張されてゐる。教会の改宗者なる女性には、開拓地帯にやつて来て教会外のこのような男性と終生を共にするのを恐れ、又、この様な粗野で下品な父親の影響の下で子供を養育するのをはばかつた。彼女たちは一夫多妻をしてもよいからと洗練された教会の会員である上品な男性の妻となりたといと望んだのであろう。このことを実現するために、重婚は一夫多妻が設定されたと考えられる。教会に入会した大部分の男性は、卓越せる且つ又、靈的に真理と人生の価値とを深求する人たちであつた。このような男の人たちのみ、回復された福音を探求し、教会の会員たちの求めに犠牲に直面する様導かれたのである。この様な状態の下で、前に述べた如くモルモン開拓者社会には女性の過剰などなく、教会外に存した下らない粗野な人たちとつれ合う必要もまたなかつたのである。

もう一つの推論は人数が少かつたので教会はより多くの人数を欲してこの慣習を実行したため、人口が増加したということである。この考え方は支持されるものではない。何とならば女の人の数は、決して過剰ではなかつたからである。

簡単な真理——唯一の受け入れられるべき真理は、重婚より一夫多妻の原則が教会のために、予言者ジョセフ・スミスを通して主より啓示として与えられたということである。これは予言者に伝えられた多くの原則の中の一つであつた。即ち決して人の手に成るものではないのである。この原則は予言者の若干の同僚に初期に於て伝えられ、又後になり、教会全体に示されたのである。

教会の会員たちは、予言者ジョセフ・スミスの受けた神の召しについて個人個人の証詞をもつてゐた。彼らは、個々に予言者を通

して回復された福音を受け入れ、スミスが一つの教義を天より受ける、人々はスミスの予言的召しと力との真実性をすでに確信していたから、その新らしく啓示された教義を受け入れ、それを実行したのである。二人以上の妻をめとることを許された教会の会員たちはそうすることが神の誠命に従うことであると信ずるが故にそうしたのである。この信仰は、**重婚**ということより生ずる多くの問題にうち勝つ力を与え、且、又宗教上の信条と慣習の自由の聖なる権利を侵害せんとする敵に對抗する力をも与えたのである。

一夫多妻

一夫多妻

われわれは、何故主が**重婚**を命令したもうたのか知らない。ある人は**重婚**を行わせ、それによつて生ずる迫害に耐える試練を會員に与えるためであつたと考えている。もう一つの考

え方は、前世に關係をもつ教義にその基礎をおくものである。霊界には、より進歩するための方法として肉体を受くるためにこの世に來る機会を待つてゐる数多くの霊がいる。こうした未だ生れざる霊は、出来る限り最良の両親を欲している。重婚を受け入れる人たちは、大体、社会に於て最も洗練された、上品なタイプの人たちである。価値ある生活を行う男性のみ、二人以上の妻を得ることを許された。そして又、信仰あつく純潔な生活を営む女性のみよるとんで重婚又は一夫多妻の家庭の一員となつたのである。(この制度に入るといふ認可は、教会の大管長によつてのみ認められるものであり、そのためには注意深い審査がなされたといふことを覚える必要がある)しかしながら、このことも神の示したもうた行いを人間が説明を試みた一例に過ぎないのである。優生学を研究すると、一夫多妻の子供は肉体的に、又精神的に平均以上であるといふことを知る。そして幸福な重婚の家庭はその幸福さの程度に於て一夫一妻主義の家庭より高かつたのである。重婚又は一夫多妻の原則は、主より啓示として与えられた。そ

れ故に、教会はそれを履行したのである。しかし**重婚**は一夫多妻主義は、主が指示を予言者に与えたもうた時に禁止された。教会は、常に生き、行動し、啓示の中にその存在を有するからである。

大管長の言葉「祈りについて」

私は、すべての末日聖徒が、常に秘かな祈り、家族の祈りを捧げるよう希望する。家族の祈りや、秘かな祈りの捧げられぬ家庭で養育される子供たちは、多くのものを失つてゐると云わねばならない。私はこの混乱、騒乱多き、緊急を要する世界に於て、多くの家庭が祈りなく、又主の祝福なくして、とり残されてしまつてゐるのを大へん残念に思う。これらの家庭はいつまでも幸福になり得ることが出来ないからである。

ジョージ・アルバート スミス

私は、神が信仰の祈りを聞きとどけ給うという知識を私の最上の経験として大切にしたいと思ふ。祈りの答が即座に与えられず、又期待通りに与えられない時のあるのも事実であるが、ある時には、祈りを捧げる人たちのためになるような答の与えられることのあるのも真実である。一回のみならず、何回となく、私は自分の祈りが聞かれたという即座の確信を得たことがある。ある時、祈りの答は、あたかも天父なる神が、私の傍にお立ちになり、言葉を語られてゐるかの如くに明らかに私にもたらされた。これらの経験は、私の生涯の一部となるものであり、私の記憶と知性との存続する限り残るものである。これらの経験は「人の心の開かれてゐる時には、神は常に人の祈りを聞きとどけたもう」といふ事実を私に教えてゐるのである。

デビッド・O、マツケイ

ニュース欄

新訳モルモン経について

佐藤 龍 猪

第三、旧訳モルモン経には、文語体であるから解りにくいばかりでなくその表現も現在のものとは大分ちがつていたので、読んだ時にむしろ奇妙な感じを抱かせる所があります。たとえば「我等の風に吹返さるる四日目に風は転(うた)た」激しくなり(ニーフアイ第一書第十八章十四節)、「凡そ悪魔の国に属する教会の恐怖震慄(きようふしんりつ)する日速に來らん」(ニーフアイ第一書第二十二章二十三節)、「我靈魂は惡を極めて罪の綱目に縛らるる不幸の様より慰い救われぬ」(モーサヤ書第二十七章二十九節)。「如何なれば聖き予言者等の一切の予言を駁撃(ばくけき)するや」(アルマ書第三十章二十二節)。「此事共あるなるに」(モーサヤ書第三章九節)「天主の目に憎ましき多くの行を為せし故」(モーサヤ書第二十三章九節)、「天主に祈ることを為さざりしも然然にして其心を神に打明し」(モーサヤ書第二十四章十二節)などという箇所があります。今から五十年近く前の文章ではこれと同じような表現が歓迎されたと思われませんが、現在では読者の

の感覚と少々ちがっていると考えられます。以上の箇所はそれぞれ「ところが風に吹きかえされた四日めに、嵐が非常にはげしくなり始め」(ニーフアイ第一書第十八章十四節)、「要するにすべて悪魔の王国に属する教会がおそれるえあがる日が速にくる」(ニーフアイ第一書第二十二章二十三節)、「私の身も靈も罪の綱目にしばられ苦汁を飲まされる思いの不幸な有様から慰われた」(モーサヤ書第二十七章二十九節)、「どう言うわけで聖い予言者たちの予言にことごとく反対して言うのか」(アルマ書第三十章二十二節)、「以上のようなのであるにもかかわらず」(モーサヤ書第三章九節)、「主の目から見て憎らしい多くの行いをしたから」(モーサヤ書第二十三章九節)、「主に祈りを捧げなかつたが、黙つてその心を神にうちあけたので」(モーサヤ書第二十四章十二節)などといったしました。

次にその表現が今の文章の表現とちがつているばかりでなく、その意味がよくとれない箇所もあります。たとえば「汝等は精神上已に神に生れたりや」(アルマ書第五章十四節)「我若し神に生れざりせば此事共を知らざりしならん」(アルマ書三十六章五節)、「靈魂は何時迄も決して死するを得ざる者なれば、原墮落は肉体上の死のみならず靈魂上の死をも万民に及ぼせり」(アルマ書第四十二章九節)などという所がありますが、これらはそ

れぞれ「あなたたちは今日靈によつて生れ神の子となつてゐるか」(アルマ書第五書十四節)、「私がもしも神によつて生れなかつたならば、以上のことを知らなかつたであらう」(アルマ書第二十六章五節)、「靈はいつまでも決して消え失せることのできないものであつたから、始祖の墮落は肉体の死ばかりでなく靈の死までもあらゆる人類に及ぼした」(アルマ書第四十二章九節)などといったしました。またそれから、ニーフアイ第一書第二十章十四、十五、十六節およびモーサヤ書第十五章二一五節のように、全体の意味が難解の箇所がありますが、これらを新旧比較してかかげますからどのような点が明らかになつたかを知つて下さい。

ニーフアイ第一書第二十章十四、十五、十六節

旧訳 一四ヤコブよ、イスラエルよ、集りて、我等の中に此事共を告げしは抑も誰、天主は其人を愛し給へり。且天主は我に宣べ伝え給ひし御言葉を成就し給ひ。其御意のまゝをバビロンに為し給ひ。其手をカルデア人の上に下し給はん。一五二三便宣はく、天主なる我は命令を下せ。我は告げん其人を召し之を連れ來れ。其道を榮えしめん。一六汝等我に、我は始より秘密に語らば、何に、宣言の時以來之を告げたり。天主なる神と其御靈は我を遣し給へり」

新訳 一四イスラエルの家上皆集つて聞け。

予言者らの中でこれらのことを汝らに宣べ告げたのは誰か。主はその人を愛したもうた。その人はまことに予言者らの宣べ伝えた主の御言葉を成就し、主のみこころのたまをバビロンに行い、その手をカルデア人の上に下す。一五主はまた仰せになる。まことに主なるわれであるわれが命じた。われは宣べ伝えるためにその人を召しその人を連れてきた。主はその人の道を榮えさせよう。一六汝らわれに近づけ、われは始めからひそかに語つたことはない。なにごとでもその宣言の時からこれを語つた。主なる神とその「みたま」がその人を遣わしたもうた」。

モーサヤ書第十五章二一五節

旧訳 二一五彼は肉体に宿り給ふ故、之を

神の御子と称ふ。而して己に其肉体を父の旨に従はせられば誘惑に逢ふとも之に屈せず、己が民の侮り、聲ち、遂捨て、拒むに任せ給ふ。彼は父にして又子なり。神の御能にて其靈魂の生れ給ひし關係に由り父なり。肉体を持ち給ふ關係に由り子なり。斯く父にも成り亦子にも成り給ふ。然れば其靈魂と肉体とは二つのもの合して一つの神即ち天地の真なる永遠の父たる者なり。肉体は靈魂に従ふ。即ち言換ふれば子と父とは同一の神なる故、子は父に従ふ」

新訳 二そしてこの神は肉体に宿りたもう

たから神の御子と呼ばれたもう。またその肉体を父のみこころに従わせたもうから、父にしてまた子である。三神の力でたい内に宿りたもうから父であり、肉体を持ちたもうから子である。このように父にもなり、また子にも成りたもう。四よつて父と子とは一つの神会を成したまい、かれらはまことに大地の真の永遠の父である。五このように肉は「みたま」に従う、すなわち子は父に従つて一つの神会を成し、誘惑に逢つてもこれに負けず、自分の民が侮り打ち追ひ出し拒むまに任せたもう」

モルモン開拓祭

多根思

本文はロサンゼルス市の邦字紙「羅府新報」掲載された在ソートレック市の邦人多根思氏の寄書である。在米十年間にしてその眼に映じた末日聖徒に対する觀察談として興味あるものであるから、必しも全部が正確ではないがここに転載した。

本日（七月二十四日）はモルモン開拓日、満百十年に当る。一八四七年七月廿四日彼等は当地へ開拓の足を踏み入れた。

彼等の開拓精神について昨日デゼレツト紙の杜説はこんなに書いてあつた。曰く信仰、曰く服従、曰く忍耐不屈、努力奮闘曰く自己犠牲的大衆の福祉増進等々彼等は利己主義、我利々々亡者を排斥、文字通りの、アンセル

フェイスウ・コーボレオンをそのまゝ生活に取り入れたものである。

満百十年間彼等の信仰、社会奉仕は現在如何なる結果を表現しているか、けさのツリビ

エン紙はエトリアル欄のふう刺画で我等は

ランプ時代の開拓精神を要すると論じている。

抽象的觀念遊戯を一切抜きにして、一体モ

ルモン勢力はどうか、これを具体的に示すも

のは左の数字である。ソートレック市の人口

二十万五千人中その六割、すなわち十二万三

千人はモルモン信者である。ユタ州の人口七

十九万七千人中、その七割五分、即ち五十九

万八千七百五十人はモルモン信者である。

右の数字はモルモンの、日本人伝道部長ベ

リー氏の説明と、ツリビエン紙編集局内の

インフォメーション部で得たもので正確な

数字であると私は信じている。

* * *

モルモンの信仰は言うまでもなく神第一で

あり、教義は愛の実行である。彼等はいたづ

らに口先だけの天国、極楽浄土の大安売をせ

ぬ。至つて現実主義である。現実の社会を正

視してこれに応酬する。だから彼等は愛を説

かやして、ただその実行を第一主義とする。

彼等は天国を夢見る前にまず家庭の純良至善

を説く、清浄なる家庭なくして何の天国ぞや

と叫ぶ。彼等は離婚なき社会を要求してやま

ぬ。

彼等は教会のためには独立自営主義者であ

る、故に寄付を求めず、集金の行為はせぬ。而も彼等は社会奉仕のためには全力を尽して、あくことを知らぬ、たとえば彼等の経営する小児専門の医院はユタ州中、これに肩をならぶるものはないと言われている。

彼等の新聞デゼレト紙は山中新聞第一の古い新聞である。彼等の財政的勢力については何も書く必要はない。

私の見るところではモルモンはいわゆるインターナショナル宗教団体である、一年二回、四月と十月の集会には白人の外日本人あり、朝鮮人あり、比島人あり、メキシコ人あり、インディアンありで、彼等は一切平等で人種を超越した見るからに四海兄弟主義である。宗教は斯くあるべきは当然すぎる程当然であるが、その当然すぎる程の当然について私のふに落ちないのは仏教の北米布教である、五十有年の歴史と四十九のお寺とを有する堂々たる宗教団体、現在の開教使は、お寺毎に一人は必ずその職にある。五十年間に日本へ去つた開教使、米國で亡くなつた開教使を加うれば五十有余年間に七、八十人の開教使が粉骨砕身の努力を捧げたにもかかわらず、日本人の外に果して幾人の仏教信者をお寺へ迎えたであらうか、北米の仏教信者は日本人だけに限られたものだらうかとの疑問は敢て不当不正なものではあるまい。

私は当地へ来てから十年近くなるが白人が

仏教に帰依したのは、私の知る限りではたつた一人である、それも仏教布教からの結果でなく、彼白人自身が英文で仏教を研究した結果である。

これに較ぶればモルモン開拓百十年間に白人以外に如何に多くの外国人の信者を迎えたかは驚くべきだと思う、たとえば日本人のモルモン信者は今や九十人近く、日本人だけの集会所が日本人街の中心にある。第三世日系人がモルモン日曜学校に学んでいるのは大した数だという。今日の二時間に亘る大行列については一切を省き、最後に一言したいのは先年朝比奈師は当市へ巡遊された時第一にタバナクルを見学したのであるが、その時の案内役はユタ日報社と笠井氏とが骨折つてくれた。あの有名な世界一と評されているパイプ・オルガン楽堂へ案内された朝比奈師が驚きのあまり一体この場内には、どれだけの椅子があるのですかとその問に対して、サア六、七千位でしょうと答えている。

これは朝比奈師が帰朝後の著書「欧米雲水記」の中にある一節であるが、パイプ・オルガン楽堂の収容人数は八千名であることはこのタバナクルへ一度足を入れた人なら誰れでも知つてゐる周知の事実である。而もタバナクルには二人のゲートマンが如何なる質問にも懇切丁寧に応じてくれるのである。

塩一家の改宗を見て

仙台支部の期待集まる

一九五一年の秋頃、フアガソン長老たちと駅前で街頭伝道をした時、側に靴磨きをしてゐた浮浪児が教会へ顔を出すようになり、或る日その少年が犬に咬まれた傷を治療するためフアガソン長老が岩本外科病院へ連れて行つた。その時の病院の受付が塩千鶴子姉妹であつた。これがきつかけで千鶴子さんが教会を知り真の福音に耳を傾け、その年のクリスマスに朝バプテスマを受けて塩一家の最初の信者となられた。塩一家は代々熱心な天理教信者であつたが千鶴子姉妹改宗の翌春、ミッシンヨンスクール（宮城学院）に通学中の順子姉妹、夏にはやはりミッシンヨンスクール東北学院通学中の英雄兄弟が生れた。これがために天理教の布教師までして居られる祖父母方の反対は激しくついに千鶴子姉妹達の教会出席も意のままにならず、加うるに宣教師や神権者の家庭訪問もとぎれ勝ちになつた。このような困難の中にも固い熱心な信仰はいよいよ強く昨年夏ついに御主人隆義氏並びに末息隆彦、文彦両君が改宗バプテスマを受けるに至つた。しかもそのバプテスマは英雄兄弟が主の御名によつて自分の父親に浸礼を施すという重任を果たしたのである。

然るに本年五月末のこと、英雄兄弟の祖父長七氏が医者に見はなされた「ちようねんて

ん」の大手術後わや十日足らずで清き広瀬川の流れに身を浸し八十二才の高齢を以てめでたく水と霊によつて生れ代り、かくして千鶴子姉妹の改宗以来五ヶ年にして塩一家は父祖三代のモルモン家庭を形成することとなつた。恵まれた塩一家は現に仙台支部において隆義兄弟は家庭委員会々長、千鶴子姉妹は初



等協会々長、順子姉妹は日曜学校並に系図委員会、の教師及び支部系図委員会書記、英雄兄弟は日曜学校第一副会長、隆彦兄弟は日曜学校ジュニアクラス書記と第一線に活躍されて居るので、仙台支部の将来は塩一家の肩にかかつていゝと言つても過言でなく、支部会員の期待はまさに塩一家の今後の活動に集中さ

れている。(渡部正雄)
「写真は塩長七兄弟誕生の記念撮影」

伝道本部より

新宣教師到着

メアリ・クルック姉妹(ネヴァダ州)
花子 森 川姉妹 (ハワイ)
ロバートS・デイヴィス(ユタ州)
ゲイリー・クランブ(ユタ州)
オリオン・ウッド(ユタ州)
ジャン・ウイン(オレゴン州)
カール・ポーブ(ニタ州)
ジョン・リードアダムス(アイダホ州)
ハロルドE・アシュマン(ユタ州)
O.A.ストリープ(カルフォルニア州)
ガース・レイシユマン(アイダホ州)

転任

ルイズ・モア姉妹	野田 良 江姉妹	メアリ・クルック姉妹	花子・森 川姉妹	ラルフC・ジョーンズ	デイヴィッドR・バートン	浅田 常 臣	ロバート・デイヴィス	ゲイリー・クランブ	オリオン・ウッド
新任地	札幌本部	札幌本部	岡町本部	金沢本部	金沢本部	前橋本部	東京本部	岡山本部	仙台本部
旧任地	札幌本部	札幌本部	岡町本部	金沢本部	金沢本部	前橋本部	東京本部	岡山本部	仙台本部

ジャン・ウイン	ダニエル・カメコナ	ヴァール・テイラー	カール・ポーブ	ヴァーラD・ライト姉妹	佐々木八重子姉妹	ガースW・リーシユマン
新発田本部	三条新発田本部	室蘭本部	福岡本部	福岡本部	福岡本部	東京本部

日本人宣教師召される

野田良江姉妹は七月二十三日アンドラス伝道部長より専任宣教師として按手聖任された。現在札幌支部にて伝道中

任命

浅田 常 臣 東京西支部支部長

解任

アルマ橋本姉妹

パプテスマ

元 田 福美子	山 本 五百子	篠崎 智子	引田 陽子	村田 陽子	堀川 達子	神田 和征	新保 勇	白旗 勝子
(広島)	(広島)	(広島)	(広島)	(広島)	(新発田)	(新発田)	(金沢)	(東京中央)

大	佐	遠	浅	田	佐	桜	き	岡	進	大	坂	神	齊	渡	富	松	阿	原
村	木	藤	野	畑	伯	井	子	本	藤	榎	井	野	藤	辺	田	本	部	口
政	キ		和	宏	仲	い	い	あ	富	臭	あ	潤	優	津	ア	隆	寛	利
子	オ	昭	恵	子	子	と	そ	き	美	一	子	子	子	子	子	子	二	秋
(山	(山	(山	(横	(横	(柳	(東	(東	(岡	(岡	(新	(岡	(岡	(甲	(甲	(柳	(東	(東	(東
形	形	形	浜	浜	井	京	京	町	町	湯	山	山	府	府	井	西	西	中央
(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(	(

人々はバプテスマを施され、聖霊の力で清められてから、キリストの教会の会員の中に数えられ、その名を書き留められた。それはこの人々を忘れてなごりにせず、神の善い教えでこの人々を養いたえお善い道をふませ、たえお慎んで祈ることをつとめさせ、またこの人々の信仰のもとであり信仰を完全になしたもうたキリストの功德だけに頼らせるためである。

福音のたより

各支部の報告

素晴らしき家族の夕

○・・・仙台支部のモルモン経劇

私達仙台支部ではアンドラス伝道部長さんの意志にそうて新しい教会堂建設資金獲得の為昨年より毎月第二週目の土曜日午後六時半より八時半迄家族の夕を催し何時も

なごやかな家族的ふんいきの中にゲームや合唱演劇等にほんとうに楽しい一時を過し建築資金を積立てると同時に信者の家族相互の理解と愛を深め大変効果を挙げ常に主のたいなるお恵みと伝道部長さんの御提案に深く感謝致して居る次第です。

八月十日は私共一家の仙台での最後の家族の夕でもありましたのでお別れの意味も兼ね五十名余りの信者並に家族が集りほんとうに素晴らしい会でした。家族の夕の集ひに皆勤賞状組の阿部姉妹兄弟のお母さん及び塩兄弟姉妹御一家始め、遠藤兄弟姉妹御一家、上野兄弟御一家、江村兄弟御一家、伝道に出て居られる福田兄弟並に佐々木姉妹のお母さん、桃井姉妹のお母さん、睦まじい柳沢新夫妻等々特に当夜は阿部姉妹の御両親が汗の結晶のお米を寄贈され又塩御一家よりの新鮮なとりたてのトマト、扶助協会員の心からなる手料理に素晴らしいライスカレー御馳走、会員家

族は申すに及ばず宣教師一同特に本国より着任早々のクランブ長老等、うまいうまいと舌鼓を打ち、中には二杯三杯とお代りをする若い神権者も居た。

阿部兄弟の司会するゲーム、クランブ長老の奏する妙なるピアノの音にプログラムは進行して行つたが、終り近くに司会者阿部あつ子姉妹に私は最後だからとつておきの話をして下さいと急に頼まれ立上つたが、またまの授けんにより改宗以来八年間の信仰生活、支部長に聖任されて四年余りの総決算として強い証詞を述べる事が出来一同も喜んで心から聞いて下さつた事を深く感謝して居ります。

最後に佐藤龍猪兄弟によつてモルモン経典の新訳が完成したので祝つて私の一家と塩御一家合同でモルモン経典ニーフアイ第一書の第二章及び第四章、ニーフアイがレーパンの真鍮版を取りに行く処の演劇をして盛況裡に幕を閉じる事が出来た事を神と会員一同に厚く感謝して居ります。

配役は左記の兄弟姉妹でした。

リーハイ	渡部正雄	ゾーラム	吉田信也
レーマン	塩 隆彦	天 使	渡部望子
レミニエル	渡部正和	天 使	渡部安子
ニーフアイ	渡部正二		
サーム	塩 文彦		
レーパン	渡部正尚		
またまの声、朗読	渡部尚子		

(渡部正雄)

阿倍野支部より

七月二十七日 MIAのスポーツナイトを夜六時三十分より阿倍野市立体育館においてフットダンスを主としてバスケットボールピンポン、四百米競争等に大汗を流し、八時四十分閉会した。出席者は三十五名

アイスキャンデー売り

昨年に引続き住吉大社の祭りに私達はアイスキャンデー売りをした。五時三十分店を出したが人もまばらで夜の深まるにつれて人出も増し、幸先のよいスタートを切り、売れ行きも上々で最後にはキャンデーが売り切れてしまいお客様に断わらねばならない状態だった。売上げは一本十円のキャンデーを七二〇本、この会に十三名の人々が協力した。翌日も引続き店を出したがこの夜は涼しすぎて売れ行きが意外に悪く皆一生懸命に声を張り上げて売ってみたが昨夜の丁度半分か売上げが得られなかつた。会に集つた人は十一名、僅かな夜のひとときをこの会に集い建設資金を得ることのできたのは幸である。祭りの性質を充分にしらなかつた為に少し失敗し、友人の方から後に祭りの性質を聞き来年はこの経験に基づいてやつて行きたいと思う。

支部の境界線

アトキンソン支部長より聖餐式に意外な話を聞いて少なからぬショックをうけた。大阪の二つの支部（岡町、阿倍野）の境界線を設け、それによつて会員の所属も統一されることに

なつた。これにより当支部からは安芸宏、細田泉、植村茂夫三兄弟と岩田姉妹が九月より岡町に転籍されることになり支部の人々の賛意を得た。岡町からは七人の会員が転籍して来られる予定である。

なお今月中に予定されている行事は十六日の子供月曜学校ビクニツクは武庫川遊園地に行く、又活動として松本支部と作品や手紙の交流をしている。MIAはビクニツクとして武田尾へ、扶助協会は二十四日バザー会を催すことになつてゐる。

（植村茂夫）

山形支部の七月

一送別会七月六日（土曜日） 尾形守兄弟が勉学のためにアメリカに行かれる事になりましたので送別会を宣教師宅で午後六時から開きました。

一バプテスマ 七日に石谷忠三兄弟、十五日に大村政子姉妹、二十一日には遠藤昭一兄弟、佐々木キオ姉妹の洗礼式が行われました。

一開拓者記念日に今年も又開拓記念日をむかえましたので二十五日馬見ヶ崎川のほとりでキャンプファイヤーをいたしました。参加者は三十円づつの菓子を持参し、たき火をかこんでダンスをしたりお菓子を食べたり親睦にみちた楽しい夜のひとときを過すことが出来ました。

（草壁園子）

金沢支部の行事

一送別会支部より三人目の伝道に召されました野田よし江姉妹の送別会を聖餐式の後の短い時間に特別のプログラムとして持ちました。堀姉妹のはげましの言葉につぎ野田姉妹のお母さんはよろこびの言葉をのべました。最後に野田姉妹の力強い証を聞き神は私達のお祈りをお聞き下さいますと共に良き計画の実行に力を与えたもうたすべての物をお恵みになる事を知りました。「主は生けると知る」を唱い、野田姉妹の上に神様の大きなみちびきと祝福があります様に心から折りつゝ。

一晩餐会支部では毎月一回建設資金を得る為に晩餐会を行つています。七月二十七日も野田姉妹宅に於て出席者は少数でしたがゲイム食事に互の親睦を深め楽しい夕べの一ときを過しました。又福田長老の案により来月より「たべよう会」と名を定め資金獲得の為になお一そう内容の充実した集りに作り上げたといふ計画しております。

一「浸礼式」新保勇兄弟が二十八日に誕生致しました。神の大きなみちびきにによりまして熱心な宣教師会員求道者の方々と共に協力し遅々ながら支部発展の為に歩を進めております事を心から感謝しております。

（井奈喜代子）

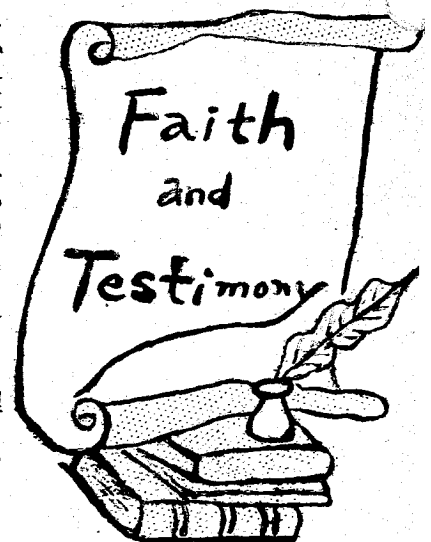
信仰と証詞

神の愛の大きさを

東京中央支部・武川 忠 義

中央地方支部の春の大会が千駄ヶ谷区民会館で開かれた時、私は素晴らしい機会を与えられ始めて出席したのでした。丁度その時私は入るべき教会を求めていた時でしたから、その機会が与えられたことを心から感謝しております。やがて六月二日、聖なる安息日、朝まだき、ありす川公園の森かげが、ミッシェンホームに向けて投じられている時、私はジョセフ・スミス最初の祈りの感慨を新たにしながら、ウエルチ長老よりバプテスマを受けたのでした。引き続きシン長老に中央支部で按手礼を受け、第二の人生が始まったのです。そして生ける神を知ることができた私にとつて「神は生き給う。イエス・キリストは人類の救い主であり、ジョセフ・スミスは真の予言者である。而して末日聖徒イエス・キリスト教会は、予言者ジョセフ・スミスを通して神権を回復された真の教会である。」と証詞できることは、永遠の生命を得んとするこの備えの現世にあつての私の最高の表現であると思います。私は若くして神の子となることができたことを感謝しております。アル

マ書三十七章三十五節―三十七節の聖句「わが子よ、忘れずに青年の時智恵を得よ。青年の時から神の命令を守ることが習慣とせよ。汝の要する一切の助けを神に祈り求めよ。何事でもすべて主のために為せ。どこへ行くにも主のために行け。常に主を念頭に置いて心の愛情をとこしえに主へ向けよ。汝のする一切の働きについて主のみこころを伺え。そうすれば主は汝の爲になる善い誠めを与えたもう。眠つてゐる間も主が見守りたもうよう夜寝る時には自分の身を主に任せて寝よ。そして朝起る時には神に感謝する念を胸に満せ。このようにすれば終りの日に高く挙げられる。」兄姉がそうである様に、私にとつて教会に集うことが唯一のものなのです。その上には常に神の溢れる程の愛がふり注いでいます。私は神の愛の大きいなることを身を以て感じることができず。敬虔な祈りと神権者を通しての聖霊の導きの下に行われる聖餐の儀式と御福音のレッスンは私にとつて欠くことのできないものであり、それを通して常に神と共に生きる喜びを感じるのです。兄弟姉妹の中にあつては共通の心の広場を見出すことができます。



し、MIAにあつては各人の埋もれている個性の可能性を充分に伸ばしてくれまう。そのつながりの中に兄弟、姉妹相互の友情と理解は深まり、精神的物質的両面に大きな支えとなつてゐることを感謝しております。私はイエス・キリストの再降臨に備えて寸時を惜まらず心の準備をしなくてはと自分自身に言い聞かせています。

浸礼を受ける日まで

山形支部・佐々木 キオ

七月二十一日は私と遠藤兄弟の浸礼と按手礼執行日でした。当地山形は十八日から降る雨が二十二日朝になつても降りやまず、二十日から二十三日まで大雨注意予報さえでたのです。神は晴天にして下さると信じる片隅に、何時晴れるあてない様な雨模様みて、たとえ大雨で流され命絶れても、神の御心ならばいとうまいとの決意から、外出の支度にとりかかり、なにげなく窓外に目をむけ雨が晴れて

るのに喫驚致しました。集合地に着いたときは、夏の陽がまぶしく照り出してさえないのです。この様に奇蹟的な晴天に恵まれ病弱な発病十二年の背柱結核持ち、大たい部苦痛ともない長時間歩行困難な私の私がうその様に苦痛なく、目的地に着き、神々しさに茫然としました。青空の下にくつきりと屏風の様にそそり立つみどりの山、その裾をあらうが如く雨の濁にもそまらず青々とえん真清水、私はこの風景前に蒲生姉妹の心つくしの白衣をつけ、シン長老に手をとられ、青々と流れをみせてくる深瀬にて浸礼を受けました。生れ変つたときの爽快な清々しい心境は古筆で書きあらわすことが出来ません。私達はその夜按手礼も受けさせてもらいました。この様に一日神に守られ何事もなく病院に帰りつきました。そして強く感じましたことは「汝我が命令守れば汝を榮えさせ約束の地に導くべし」との聖句でした。

此所までたどりつくまでの一年七ヶ月今年の一月二十三日、仙台の地方部長から知恵の言葉きかされてから、一滴のお茶も口にせず、療友から嘲笑冷視されたり、他の牧師から悪魔の教会にまよわされているとののしられても真の神の教会なりと根強く張つた私の心は動かや今日の実を結んだことを深く感謝致しております。

一言集

法律に従順であればある程、よろこびはより大いなるものとなる。即ち永遠の生活を通じて知識は増大されるのであるが、知識の増大に伴つて法律はよりよく応用され、その結果として、よろこびはますます大いなるものとなる。従つて永遠の生活は神の与えたもう最大の賜物であり、救いの計画は、比類なき高価なるものであるということが出来る。

ジョン A・ウイゾー

従順によつて、我々は神の如き者たり得る。

エマソン

大いなる第一の律法は従順ということである。

シラー

完き神を礼拝す

ジョセフ・フィールディング・スミス

神の進歩について話を時々聞くが、主の啓示と一致しない多くの事がこれまで口にされている。私は善良な兄弟達が神は以前に知つていなかった新しい真理を、今絶えず学び知りつゝあると論ずるのを耳にした事がある。或る人は、神は実験室の化学者の様に自分が知りもしなかつた陰れた真理を発見しているから進歩はつゞいていと云つてゐる。

私はこうした事を一言といえども信じない。

私は神が知らないと言ふ知識があるとは思わない。私は神が智慧と能力と真理とに於て完全であると思う。私はどんな事があつても絶対真理の神、又は絶対善の神以外の神を考へる事は出来ない。私は完き神を礼拝する。では神は進展するか、然り進展はする。しかし、これは神がまだ発見していない陰れた真理が宇宙にあるという意味ではない。何となれば、かく云えば真理が神よりも偉大になるからである。

主の御言葉によれば神は神の子等を住まわせる世界又は地を現在造つて居られる。この様にして主は自らの宇宙を拡大し、丁度諸君の様な神の息子や娘たちをその上に住まわせておいでになる。すなわち神の王国の大きさが増しているから神は大きくなつて居られる。従つてこれには終りが無い。これが神の進展であつて神の知らない事が宇宙にあるのではけつてない。

岡山支部

一九五五年五月十日、当時の南
地方部長トーマス・竹内長老はト
イン長老をともしない広島から山陽
線の上りにのりこんだ。福岡支部
が閉鎖されたので二支部に縮小さ
れた同地方部としてはぜひ新規の
支部を開設したいと思い、人口約
二十六万、大阪と広島とのほぼ中
間にあたる岡山市に目をつけその
下調査におもむいたのである。日
本三大名園の一つ後樂園をもつ岡
山市民に、さらに美しい心のバラ
ダイスを与えるべく宣教師は岡山
駅におりたつた。戦后伝道部は再
会され、支部が新規に開かれた場
合、大ていは信者か求道者かがそ
の町にあって宣教師をはけんして
くれるよう伝道部長に願う事によ
ってそのほとんどが始められた。
まったくの未知な地に伝道するの
は容易な事ではないが、それでも
いくつかの支部は宣教師がスーツ
ケース一つもって旅館に最初宿泊
してその伝道を開始したのである。

岡山支部もその一つであって知人



牧山の旭川でバプテスマを受ける坂井・神野両姉妹をかこんでの

岡山支部一同 (7月21日)

は一人としてなかったが、下調査
の結果、岩国と呉の中から選ばれ、
トイン長老とモフイット長老がは
けんされたのは六月一日の事であ
った。彼等の日記のぬき書を紹介
して開設当時の苦勞をしのびたい。

六月一日、岡山市に着任、安
宿に投宿。岡山支部の発展の為
に断食祈願をする。ロバートソ
ン伝道部長の内命は「四ヶ月懸
命に努力し、将来の見込みがな
ければ中止せよ」であった。

六月十日、部屋をみつけ引越。
六月十二日、岡山支部の第一
回の聖餐式、神権会を敬肅に開会
する。出席者、トイン長老、モ
フイット長老計二名。

六月十三日、トラクティング
開始、岡山市民の印象は良。

六月十九日、第二回支部集会、
出席者長老二名及び始めて岡山
市民(?)の出席二名を得。但
し小学生。歓迎のしるしに兩名
より花をいただく。

六月廿五日、モフイット長老
盲ちようの為入院。

七月十日、子供の日曜学校開
始、出席二名。

七月十七日、一週間おくれて
大人の日曜学校開始、出席者宣
教師二名、他に求道者二名、一
ヶ月半にしてやっと大人の出席
が支部の集会に得られた。

七月卅一日、子供の日曜学校
は十五名の出席となった。この
頃興味を持った人達ときかんに

家庭集會が開かれた。

八月七日、大人の日曜學校、男一、女三計四名となる。

八月廿三日、モフイット長老小樽に転任、後任にオズボン長老岡山支部に着任、

宣教師の日記は單調に続く事、一年六ヶ月、一九五六年十二月、すなわち昨年の十二月によく二人の姉妹が誕生した。今年に入つて八月一日現在十一名のバプテスマがあり、計十三名の會員数になつて一応まとまつた支部に發展した。

支部の根底をなす神權會は、(宣教師達日本一と自称する)アロン神權の執事三名のみであるが、実に忠実な神權者ばかりであつて支部長の命令ならばたとえ火の中の水の中でも飛び込める程の服従心の強い、有望な若者達である。その三名が日曜學校、MIAの會長會員として勇猛精進。オルガン購入にむきポロ集めまでして働いた。おかげでいつも集會は敬けんな雰囲気をもし出す事が出来る。よいオルガニストに恵まれた事も、彼等のあせの結晶を有効に使用せんとする神の思召しかも知れない。

日曜學校は平均二十名程の出席

者がある。MIAは十五名程である。これら二つの集會の先生として女姓のメンバーが熱心に働いている。女姓の十名のメンバーもよくこれ程人材が集まつたものと感心させられた。例えば扶助協會の組織を拝見させてもらつておどろいたのであるが、この支部よりはるかに優秀な支部であつても、これ程立派な組織はちよつと出来な

い程に充実

している。特に先生達

がそれぞれ

の才能を有効に使い、

文學は女子

大学生、保

健は女医の

姉妹。料理

は二児を持つ主婦。神

學は福音を熱心に研究する姉妹と



左上は道路でスキヤキをパクツク神權會グループ

右下はオスシを食べるマツクレ一長老と姉妹たち



その上にどこからみても立派な母達が會長會を構成している。

全体の支部の組織をみて、まったく適材適所に會員達が役を与えられ、働いている事に気がつく。責任を三つも四つも兼任している信者を時々みうけるが、この支部にはそれがない。せいぜいMIAの會長及び第二副會長が日曜學校の先生。日曜學校の第一副會長がMIAの先生というように役員と別な会の教師兼任くらいであつた。

それというのも十三人のメンバーのつぶがよくそろっているからで、そのよい証拠に聖餐式の出席率は九〇パーセントを下つた事がないのである。現在この伝道部の一番會員の出席率のよい支部である。二年前の六月に開かれた時は四ヶ月という内命を受けていたにもかかわらず、それが延長され、例え一年半も會員が誕生しなくても閉鎖されなかつたのは、実に神は現在のこの岡山支部を見通してい

表紙の説明

「ハワイ神殿にある石像」
 リーハイ・ヨセフを祝福
 しめるように、りりしく、且つ品位ある態度で立っているのである。

たからであろう。岡山市は実にソドムやゴモラの町ではなかったのであつた。宣教師達が足のちりを払って他の町へ行くどころか、この町にすっかり根を下してしまつた。

アブラハムは十人のよい人すらソドムとゴモラから発見出来なかつたが、岡山市からは十人以上の末日聖徒が誕生したのである。

この地に働く宣教師はやりがいがあるというものの、「後なるものは先となる」の例そのごとくに発展して行つてもらいたいものである。(今回は小樽支部)

「さて、私が艱難をしたこの荒野からつれて来た末子のヨセフよ。願わくは主がとこしえに汝を祝福したまわんことを。汝の子孫が全く亡びてしまうことはない」(ニローアイ第二書三章三節)

この言葉とこれに続く言葉の中に於て、リーハイは息子のヨセフに最も大いなる祝福の一つを与えている。紀元前五八〇年頃、美しい約束の地に居を定めたリーハイ

は、伝統的な古代の様式に従い、息子たち一人一人の頭に按手して彼らに父の祝福を与えた。ヨセフは、若し忠実であるなら、約束の地を受けるであろうという祝福の言葉を与えられ、又自分の子孫は決して滅ぼされることはないであろうことも学んだ。ヨセフは、神の起したもう末日の予言者について教えられたが、この予言はジョセフ・スミスの出現によつてくすしくも成就されたのである。

この祝福されるべき出来事を記念して、今月号の聖徒の道の表紙に掲載されている記念碑が建てられた。これは、今ハワイ神殿の丁度裏側に立てられてある。人間の形より大きく作られており、石こう製である。

石像の立つている背後には、ジャングルの如く美しく植物が密生し、だれしもリーハイより祝福が与えられた時のすばらしい雰囲気をおのずから感じ得る。そしてこの石像は、ヨセフに与えられた大いなる祝福をいつまでも思い起さ

編集言

◎教会の活動発展のために五つの支部が閉鎖された。けれど伝道部長メッセーシが其の事由を説明している。

◎ここで考えるべきは各支部とも其の組織を完備することです。すべての組織を完備することによつて会員相互の発達が約束されるのであります。

◎「教義と聖約」「高価なる真珠」の印刷校正が始まりました。私たちのこの聖典の邦訳文によつて信仰の基礎を新たにする日が近付きました。

「聖徒の道」一九五七年九月一日

発行人 ポール C アンドラス

編集人 高木 富五郎

発行所 東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部 極東伝道部



辞書は三省堂

東京・神田神保町一ノ一
振替 東京 五四三〇〇

三省堂

新撰漢和辞典	音訓 両引き	新小辞林	明解古語辞典	明解国語辞典	辞海	中学英和新辞典	新クラウン英和辞典	初級コンサイス英和辞典	デイリーコンサイス英和辞典	コンサイス英英辞典	コンサイス英和辞典
七〇〇円	三五〇円	三〇〇円	四八〇円	三二〇円	一、〇〇〇円	二五〇円	四二〇円 大四八〇円	一七〇円 特価一五〇円	二〇〇円	四五〇円	三八〇円 革五〇〇円 三五〇円 革四七〇円

福音書の日本語版

新訳「モルモン経」(口語体、上製) 二二〇円

新旧約「聖書」(口語体) 二七〇円
(文語体) 二七〇円

◎ 日曜学校用 二一〇円

万人のよきおとずれ 一〇〇円

古代の使徒 一〇〇円

我等の標準聖典 一〇〇円

霊的成長(子供の日曜学校用) 一〇〇円

音楽指揮の原理 五〇円

新求道者のための福音の根本原則 二五〇円

日曜学校の手引 二五〇円

初等協会用教科書 一五〇円

図書管理者便覧 二五〇円

◎ M I A 用

信証講義 一九〇円

演劇用テキスト 五〇円

役員と指導者の手引 一〇〇円

スクエアダンスとフォークダンス 三〇〇円

スポーツの手引 二五〇円

ゲームとその遊び方 六〇円

◎ 讃美歌

末日聖徒讃美歌 一九〇円

末日聖徒讃美歌拔萃 三〇円

子等は歌う 二二〇円

(備考) 御注文は宣教師へ